桑名市複合化施設（仮称）オフィス環境整備業務に係る
公募型プロポーザル基本方針

１．業務の目的

本業務の目的は、「桑名市公共施設等総合管理計画」の基本方針に基づき、桑名市消防署（桑名市大字江場 7 番地）の建物を再編し、行政機能及び民間団体等が入居する複合施設へと転換する事業を進めており、建替えに伴う巨額の新築投資を回避して財政負担を大幅に軽減すると同時に、行政資源と民間活力を融合させた複合化により、施設稼働率の向上と資産効率の最大化を図る社会的・行政的要請に応えるものである。

また、令和９年度（令和９年７月５日予定）の供用開始に向け、単なる什器等の配置や調達といった事務的作業にとどまらず、勤務環境の抜本的改善を通じた業務効率化・生産性向上を達成することにある。行政機能及び民間団体等の移転先である３階事務所エリア等へのフリーアドレス導入をはじめ、デジタル社会に対応した働き方やペーパーレス化、リモートワークの推進、さらには将来の組織改編にも柔軟に即応できる可変性の高い執務環境を構築し、持続可能な庁舎運営と高度な行政サービス創出の基盤を確立する。

２．公募型プロポーザル方式採用理由

本業務は、単なる什器等の調達にとどまらず、デジタル化に対応した可変性の高い空間デザインや、クラウド PBX 構築等の通信基盤の一体設計、さらには開庁業務への影響を最小限に抑える複数拠点からの計画的な移転など、多岐にわたる工程を包括的に実施するものである。什器等の調達・移設及び通信基盤の構築を総合的に設計・管理できる民間事業者の提案力や技術力を多角的に評価し、最適な受託者を選定するため、プロポーザル方式を採用することが適切であると考える。

３．期待される効果

本オフィス環境整備業務の実施により、桑名市複合化施設（仮称）には単なる執務室の刷新を超えた複合効果がもたらされる。ワークスタイル変革と公共資産の有効活用を融合させることで、行政運営の効率化と将来にわたる持続可能性の確保を同時に達成する。

（１）部署内におけるコミュニケーションの活性化と柔軟な働き方の推進

従来の固定席運用を打破し、部署（課・団体等）内における自由な座席選択（グループ内フリーアドレス）を導入することで、課内職員相互のタイムリーな相談や情報共有を促進する。 また、業務内容やプロジェクトに応じた柔軟な座席の配置を可能とすることで、部署内のコミュニケーション円滑化、業務効率化及び組織の生産性向上を図る。

（２）業務内容に応じた柔軟な働き方による生産性向上

高集中ワーク、打合せ、Web 会議、リモートワークなど、業務特性に応じて最適な空間を選択できる ABW（Activity Based Working）の考え方を導入する。また、フリーアドレス導入の前提となる文書削減を実行し、執務室内の保有紙文書量を減量する。

（３）組織改編や将来のレイアウト変更に対する柔軟な対応力

汎用性の高い標準什器等やモジュール化されたレイアウトを採用し、組織改編や職員数の増減に即座に対応できる可変性を確保することで、組織改編のたびに発生していた大規模な什器等の移動・配線工事・レイアウト改修費用を最小限に抑え、庁舎ライフサイクルコストを低減する。

（４）財政負担の軽減

既存什器等の移設・再利用と新調什器等・クラウド PBX の一体整備により、初期導入費を最適化して市財政の負担を軽減する。また、クラウド PBX の導入による通信環境の効率化や、フリーアドレス化に伴うペーパーレス化・デジタル化の推進により、日常的な庁内運用コスト（消耗品等の事務コスト、維持管理工数等）の持続的な削減を実現する。

４．スケジュール（予定）

実施内容	実施時期
公募要領の交付開始	令和８年 11 月 2 日（月）
質問受付期間	令和８年 11 月 2 日（月）～11 月 9 日（月）
質問回答日	令和８年 11 月 16 日（月）（予定）
参加申込書等受付期間	令和８年 11 月 2 日（月）～11 月 20 日（金）
参加資格確認結果の通知	令和８年 11 月 24 日（火）（予定）
提案書等受付、現地調査及び現課ヒアリング期間	令和８年 11 月 24 日（火）～12 月 25 日（金）
審査実施日	令和９年１月 19 日（火）
契約相手先候補者の決定	令和９年１月 22 日（金）（予定）
現地調査及び関係部署詳細協議期間	令和９年１月 22 日（金）～２月 10 日（水）
契約締結日	令和９年２月 10 日（水）頃（予定）

５．審査方法

選定委員会を設置し、企画提案書の内容とプレゼンテーション等により、本事業の趣旨の理解度、事業計画、価格等について総合的に判断し、契約相手先候補者を決定します。